

交通安全の取り組み

交通安全の啓発 危険運転撲滅プロジェクトの推進

当社と阪神高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)、(株)エフエム大阪の4社共同で、高速道路での交通事故につながる「ながら運転」による危険運転を撲滅し、交通事故ゼロを目指すべく、「STOP! NAGARA DRIVING PROJECT(通称SNDプロジェクト)」を推進しています。2020年度は、「Heart to Heart 伝えよう!届けよう!SNDメッセージキャンペーン」を開催。ながら運転撲滅に対するメッセージを公募し、2021年2月にグランプリが決定しました。



STOP! NAGARA DRIVING PROJECT
交通安全をゼロにするための危険運転撲滅プロジェクト

ともに行動・応援してくれるサポーターを募集中

テーマ
スマホ見ながら運転

「今から帰るよ。」
そのメッセージが、
家族にとって
最後の言葉に
なるかもしれない。

4社の社長による最終審査会
グランプリ作品

高速道路の交通管理 24時間365日体制で高速道路を巡回しています

道路の安全と円滑な交通の確保を図るため、交通管理隊が高速道路を巡回しています。交通管理隊が収集・把握した渋滞の状況や気象情報などは道路管制センターで集約し、情報板などを通してお客さまに発信しています。また、路上障害物が発生した際は、緊急出動して排除にあたるほか、警察・消防と連携した事故対応、故障車に対する援助などを通じて、お客さまの快適なドライブをサポートしています。



Voice 地元ケーブルテレビを通じた交通安全啓発活動に取り組んでいます。

より多くのお客さまへ交通安全の重要性を伝えるため、ケーブルテレビを通じた啓発活動に取り組みました。これまでに実績がない状態からのスタートでしたが、最初に高知基地の隊員自らが地元民放テレビ局に粘り強くアプローチを行い、交通管理隊の密着取材を通じた落下物防止の啓発を実現しました。その後、取り組みを発展させ四国全県での放送を目標に、各県の交通管理隊員が地元ケーブルテレビ局へ企画を持ち込んだ結果、4県全てで放送することができました。今後も地域の皆さまが安全・安心に高速道路をご利用いただけるよう取り組んでまいります。



西日本高速道路サービス四国(株)パトロール事業課 戸田 宗貴

高知ケーブルテレビ(高知県)

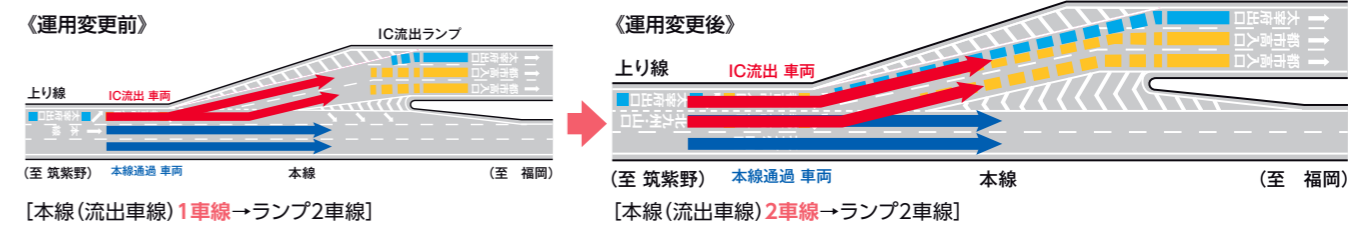
中讃ケーブルビジョン(香川県)

快適な高速道路走行の支援

交通渋滞の緩和 渋滞対策に取り組んでいます

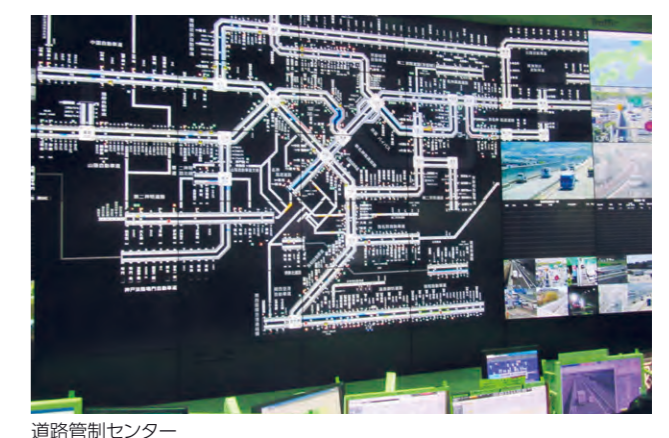
九州自動車道(上り線)太宰府IC出口付近で、定常的に発生していた渋滞の緩和を目的に、IC出口へ流出する車線の運用を変更する対策を実施しました。これまで3車線のうち左車線の1車線が一般道・都市

高速へ流出できる車線でしたが、これを左車線と中央車線の2車線から流出できる運用に変更することで、太宰府IC出口付近における渋滞回数の減少が期待されます。



道路交通情報の発信 情報の集約・発信基地としてお客さまの安全確保に努めています

道路管制センターでは、24時間365日体制で、安全運転に必要な情報の収集・発信や道路設備の監視・制御を行い、お客さまの安全確保に努めています。同センターの交通管理部門では、交通事故や渋滞、異常気象などの情報を集約して、情報板やカーナビなどを通じてリアルタイムにドライバーに発信し、交通管理隊への緊急出動命令や警察・消防への通報を行っています。



アイハイウェイ西日本
24時間全国高速道路の道路
交通情報を提供しています。



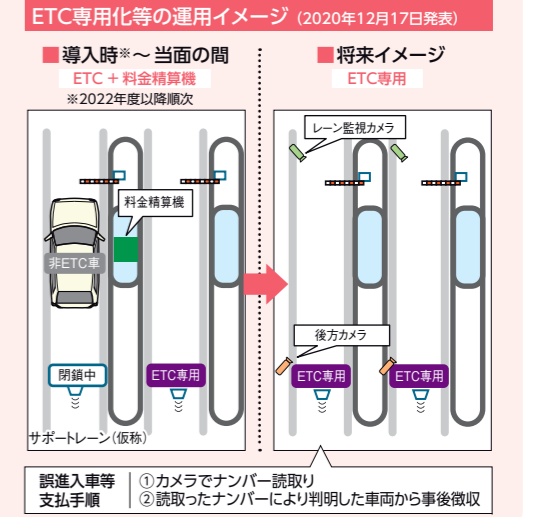
TOPICS お客さま・社会のニーズに適応した料金収受を目指し、ETC専用化等による料金所のキャッシュレス化・タッチレス化を推進

新しいモビリティ社会に向け、お客さま・社会のニーズに適応した料金収受を目指し、ETC専用化等の取り組みによるキャッシュレス化・タッチレス化を推進します。これにより、お客さまとの物理的な接触を減らし、「新しい生活様式」の実現を目指します。当社では、都市部は5年、地方部は10年程度での概成に向けて、計画的に進めていきます。

ETC専用化等のロードマップについて (2020年12月17日発表)

都都市部(近畿圏) ※1	料金所数 ※2	都市部において5年後概成					地方部を含めて10年後概成					
		2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	2022年度(R4年度)	2023年度(R5年度)	2024年度(R6年度)	2025年度(R7年度)	2026年度(R8年度)	2027年度(R9年度)	2028年度(R10年度)	2030年度頃(R12年度頃)	
NEXCO西日本	94	導入準備 ※3		近畿圏(京阪神地区及び京奈和道の内側)数か所で導入 → 順次拡大(7~8割程度)(70か所程度)			順次拡大 → 全線					
地方部		2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	2022年度(R4年度)	2023年度(R5年度)	2024年度(R6年度)	2025年度(R7年度)	2026年度(R8年度)	2027年度(R9年度)	2028年度(R10年度)	2030年度頃(R12年度頃)	
NEXCO 3社・本四高速	N東:331 N中:179 N西:339 本四: 34	導入準備 ※3		数か所で導入 → 運用状況や各地域の特性等を考慮しつつ順次拡大								全線

※1 2025年4月に開催される予定の「大阪・関西万博」への影響も考慮し、適時変更の可能性
 ※2 2020年12月1日現在の既存料金所のうちETC専用運用されていない課金料金所数
 ※3 カメラ等の設置や関係機関との協議等
 ※4 導入後の運用状況、ETCの普及状況、関係機関との協議等により、適時変更の可能性



魅力あふれるSA・PAづくり

地域と連携した商品開発 地元と協力・連携しながら商品開発を行い、地域の魅力を発信

～産学官民連携～

当社と佐賀県小城市、福岡地域戦略推進協議会(FDC)は、高速道路を基点としたまちづくりを目的に、産学官民のまちづくりを推進しています。

地元企業さまや小城市民の皆さまとワークショップ(合計5回)を開催し、企画・開発を経て、全4商品が生まれました。

2020年9月に小城市内にて竹下製菓(株)「トラキチ君シェイク」を発売。長崎道金立SA(上下線)では同年9月にみつばや小城市羊羹製造本舗「ogi cube」、10月には(株)友樹飲料の「小城市VR体験ラムネ」を発売し、ご好評をいただいています。

小城市を知ってもらうきっかけとなる新しいお土産を作ることで、来店や情報発信を通じて関係人口・交流人口増を目指しています。

※他の1商品については、発売開始時に公表します。



～高校生とのコラボ企画～

当社グループでは、地域の魅力発掘と、積極的な情報発信で地域との共生を目指し、地元の高校生との商品開発を継続して行っています。

「働くドライバーの皆さまに元気になっていただくメニュー」企画として、兵庫県立有馬高等学校の生徒の皆さまに考案を依頼し、全34作品の中から最優秀賞を選出しました。生徒が栽培した野菜を使い、2020年11月から2021年3月末まで山陽自動車道 淡河PA(上り線)で販売しました。

また、福岡県立朝倉東高等学校では、当社グループとのコラボ企画第2弾(第1弾:2019年販売済)として、地元の食材を使用したオリジナル商品3品を開発し、2020年12月から大分自動車道 山田SA(下り線)で販売しました。



店舗リニューアル SA・PAでは新たな価値・サービスの提供に挑戦しています

当社グループでは、地域の特色を生かした「ここにしかない出逢い」を演出し、より楽しくより快適にご利用いただけるようSA・PAのリニューアルに取り組んでいます。

2021年度には、関門自動車道(関門橋)めかりPA・壇之浦PAの店舗建替、山陽自動車道 吉備SA(下り線)の全面改装など9カ所のリニューアルオープンを予定しております。



より移動しやすい環境づくり モバイルバッテリー貸出サービス

お客さまがより移動しやすい環境づくりを目指し、外出時におけるスマートフォン等の充電需要に応えるため、2021年4月に西日本高速道路初のサービスとして、モバイルバッテリーシェアサービス「ChargeSPOT」をインフォメーションカウンターが設置されているSA・PA全68カ所に導入しました。高速道路内外の全国26,000カ所設置の「ChargeSPOT」バッテリースタンドであれば、どこでも貸出・返却いただけます。



安心・快適な「お手洗い」 お手洗いのリニューアル

当社では、「4C+1E」(Clear(明るさ)・Clean(清潔)・Comfortable(快適)・Charming(魅力的)+Ecology(環境への負荷軽減))をコンセプトに、お客さまに安心・快適にご利用していただけるお手洗いを目指して施設

の改修に取り組んでいます。

2020年度は、名神高速道路 吹田SA(上下線)でお手洗いの改修工事が完了し、リニューアルオープンしました。

